



株式会社スコヒアファーマ

2019年6月3日

新規エンテロペプチダーゼ阻害薬(SCO-792)の 前臨床試験に関する論文掲載について

株式会社スコヒアファーマおよび武田薬品工業株式会社の研究グループは新規エンテロペプチダーゼ阻害薬である SCO-792 の前臨床モデルにおける糖尿病および肥満治療効果を明らかにしました。

この研究成果は、2019年5月30日に「*Diabetes, Obesity and Metabolism*」でオンライン公開されました。

論文名

SCO-792, an enteropeptidase inhibitor, improves disease status of diabetes and obesity in mice

<https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/dom.13799>

エンテロペプチダーゼは十二指腸に特異的に存在するセリンプロテアーゼであり、タンパク質の消化プロセスにおいて主要な役割を担っています。これまでに炭水化物や脂質の吸収阻害が代謝疾患および肥満において有効性を示すことが明らかになっていきましたが、タンパク質の吸収阻害がどのような治療効果を発揮するかはほとんど研究されてきていませんでした。

今回、SCO-792 投与の効果を肥満、および糖尿病マウスを用いて検討しました。その結果、SCO-792 は肥満マウスにおいて摂食抑制依存的な作用および非依存的な作用により肥満を改善しました。また、SCO-792 は糖尿病マウスのインスリン抵抗性を著明に改善し血糖値を正常化しました。さらに SCO-792 は血中脂質指標および肝指標を改善しました。以上の知見から SCO-792 が臨床において同様の効果を発揮することが期待されます。

以上

本件に関するお問い合わせ先

info@scohia.com